

DWH支援ツール *Open DB Plus*

1990年にビル・インモン(William H. Inmon)氏が提唱したDWHとは「データウェアハウスは、意志決定(Decision)のため、目的別(Purpose-oriented)に編成され、統合(Integrate)された時系列で、削除(Delete)や更新(Update)しないデータの集合体」とされる

フリー百科事典「(Wikipedia)」記事掲載

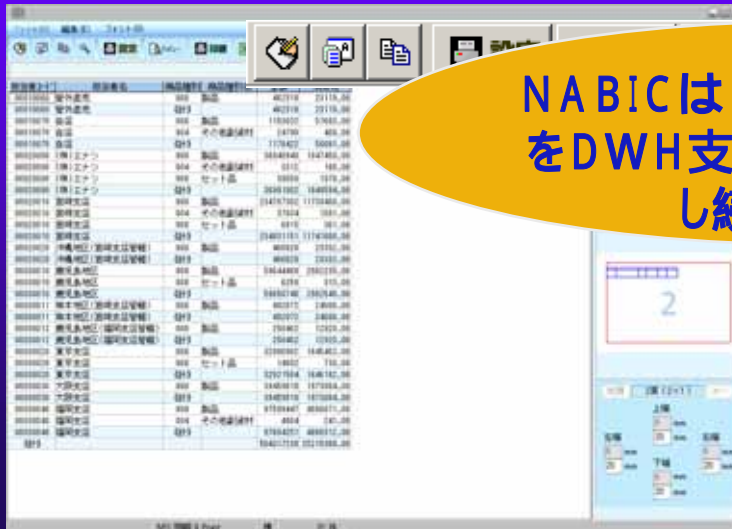
「Open DB Plus」はデータウェアハウスをユーザー指向の視点で特別な努力なく多角的に分析することが出来るように考えて構築しています

Open DB Plus

OracleなどのRDBによってDWHがより実用化



NABICは「Open DB Plus」をDWH支援ツールとして提案し続けています



Open DB Plus は

DWH(データウェアハウス)の支援ツールとして、今までの情報システムが抱えてきたさまざまな問題に対してデータウェアハウスをより使い易くご提案させていただきます。

基幹業務データベース

Open DB Plusを利用することで

RDB

SQLの組込みが自由にできます

データのExcelへの移動が簡単にできます

自由度の高い分析ができます

時系列データによって傾向・動向がわかります

辞書データによって目的に応じた情報を素早く取り出せ、業務分析の効率化が計れます

データベース項目の内容を確認するHELP機能が用意されています

CSVに移動

CSV

Excelに移動

特別な努力無く視点の切り替えができます

この欄には、利用部門の担当者に解りやすく登録した辞書データの内容を表示します。

